

プログラムの目標観

- 1 施設長・次期施設長として求められる役割について理解する。
- 2 法人理念の実践・徹底のための手法やスキルを学習する。
- 3 施設長・管理職としてのリーダーシップを醸成する。

プログラムのポイント

経営管理者として、施設長に求められる役割や機能は多岐にわたります。それらを効果的・効率的に発揮していくためには、まず施設長の役割への理解が必要です。

また、経営管理者として、①外部環境への対応や②法人の全体最適のための調整、そして③自施設に関わるマネジメントにいかに取り組んでいくかについて、演習などにも取り組んでいただきながら体系的に学習をしていただきます。

外部環境への対応

法人の全体最適

自施設の
マネジメント

※下記プログラムは一例です。貴組織のご要望に合わせてプログラムをご提案させていただきます。
そのため全6回は1例となります。

スケジュール

1回目

- ・オリエンテーション
- ・社会福祉法人の施設長に求められる役割の全体像把握

2回目

- ・自法人において施設長に求められる役割の確認
- ・自身の啓発・向上目標の明確化

3回目

- ・外部環境分析
- ・戦略などの上位概念の必要性と自法人、施設の方向性再確認

4回目

- ・経営管理者としてのリーダーシップ
- ・業務遂行におけるPDCAの再検討

5回目

- ・施設経営における財務三表の重要性と見方
- ・業務改革と業務改善

6回目

- ・施設運営における組織体制の整備
- ・人材育成とは

期待される効果

- 1 従来概念的であった経営管理者としての役割を明確にすることができます。
- 2 経営管理者としての役割や能力を体系的に学習することで、自身に必要な能力開発ができる。
- 3 経営管理者としてのリーダーシップを醸成することができる。